



「確認」「減速」「慎重」がキーワード

交通ルールを守って 歩行者事故をなくそう!

歩行者

「確認＆再確認」で安全を確保!

夜間の場合は

反射材を身につけるなど、ドライバーからも見えやすい工夫を!



歩行者は、ドライバーからよく見えるよう、明るい色の服装や反射材、LED安全ライトなどを身につけましょう。反射材はホームセンターや手芸店などで購入できます。

横断途中、道路のセンターラインを超える前に、左側を再確認!

交差点の横断歩道では、ドライバーが対向車に気を取られ歩行者の発見が遅れたり、フロントビラーの「死角」に入り歩行者が見えにくくなる事があります。歩行者は再確認し、危険であれば一旦停止しましょう。

左右をしっかり確認し、横断歩道を渡りましょう!

ドライバーは横断歩道上の歩行者に注意がたより、その付近を渡る歩行者を見落としやすい傾向があります。道路の横断は横断歩道を渡り、渡る前には左右の確認を忘れずに!

走り去った車の直後を横断しない! 左から車が来ていないことを再確認!

走ってくる車の陰になって、バイクや自動車が走行している事があります。見通しの良い場所で安全を確認してから横断するようにしましょう。

宮城県内における歩行者の交通事故発生件数は前年に比較し減少傾向にありますが、歩行者が死傷した交通事故のうち、その6割以上が道路横断中に発生しています。事故の発生状況や原因などの詳しいデータを分析すると、事故を未然に防ぐための重要なポイントがいくつか見えてきました。こうしたら歩行者を交通事故から守れるのか、みんな考えて、行動し、毎日の交通安全を心がけましょう。

- 【歩行者事故の発生特徴等】平成28年中概数
- ① 道路横断中の発生が約6割以上で、死傷者の3割以上が横断歩道上で事故に遭遇。
*グラフ1参照
 - ② 発生時間帯では、16時〜19時に多く、特に18時台が多発。
*グラフ2参照
 - ③ 死傷者の4人に1人の割合で、横断歩道外横断と飛び出しなどが原因となっており、その4割以上が重傷または死亡となっている。
 - ④ 年齢別・世代別では高齢者が最も多い。

ドライバー

「減速」で安全を確保!



横断歩道付近では減速し、すぐに止まれるスピードで走行!

歩行者の中には横断歩道の前後を渡る人もいます。横断歩道だけでなく、その付近もしっかり確認し、運転しましょう。

高齢ドライバー

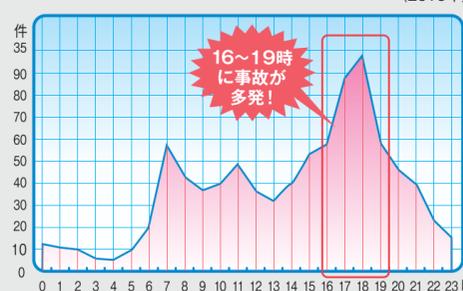
「慎重運転」で安全を確保!



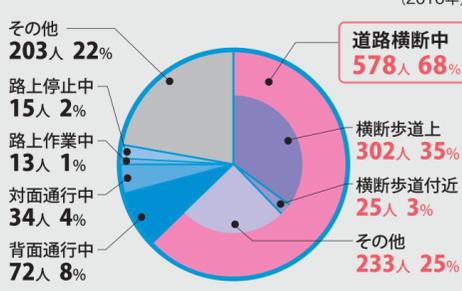
自身の運転を過信せず、慎重に!

高齢運転者教習などで運転適性をチェックしてもらったり、少しでも運転技術に不安を感じる事があれば、運転免許証自主返納制度の活用も検討してみましょう。

グラフ2 時間帯別歩行者交通事故発生状態 (2016年)



グラフ1 歩行者の状態別死傷者 (2016年)



※この紙面では65歳以上の方を高齢者としています(総務省統計局資料に準ずる) ※各数値は宮城県内のもの 資料提供/宮城県警察 企画制作/河北新報社営業局

【みやぎ交通死亡事故ゼロキャンペーン】交通死亡事故の抑止と飲酒運転根絶に向けて全力で取り組んでいます。

主催/宮城県、宮城県警察本部、河北新報社 特別協力/仙台市 ●お問い合わせ/みやぎ交通死亡事故ゼロキャンペーン事務局 河北新報社営業局営業部内 〒980-8660 仙台市青葉区五橋1-2-28 Tel. 022-211-1318 9:30~17:00(平日のみ)

架空請求詐欺の被害が多発しています

「電子マネーで支払って」は詐欺です。平成29年5月末の特殊詐欺被害件数124件(前年比+12件)被害額2億208万円(前年比-8,557万円)

警察相談電話 TEL.022-266-9110

私たちも、「みやぎ交通死亡事故ゼロキャンペーン」に賛同し、交通安全に取り組んでいます。

特別協賛/ JA・JA共済連宮城 企画協賛/ Paradiso 扇屋商事株式会社 新日鐵住金グループ

協賛

(順不同)